

○公立大学法人青森県立保健大学 令和7年度 第1回役員会 議事概要

日 時	令和7年4月16日（水）10：30 ～ 11：30
場 所	青森県立保健大学 管理・図書館棟2階 大会議室
出席者	（役員） 吉池理事長、角濱副理事長、川口理事、川内理事、野澤理事、町田理事、天野監事、西谷監事 （事務局） 荒関事務局長、三上経営企画室長、鶴谷経営企画室副参事（総務課長兼図書課長）、谷地キャリア開発・研究推進課長、大西教務学生課長、成田総務課長代理、山田図書課長代理、経営企画室千葉主査、経営企画室永澤主査、経営企画室伊藤主幹
配付資料	【議案】 ア 第1号補正予算について（資料1） イ 職員給与規程の一部改正見送りについて（資料2） 【報告事項】 ア 理事長選考会議委員の選出について（資料3） 【その他】 ア 4月9日記者発表の内容について ・ 令和7年度入学者数（資料4－1） ・ 「地域を守る最前線 冒険する学び舎」 青森県立保健大学健康科学部（資料4－2） ・ 令和6年度卒業生の国家試験受験結果（資料4－3） ・ 多文化共生社会を支える「グローバルヘルスプログラム」が スタートしました（資料4－4） ・ 令和6年度学部卒業生の就職状況 本学の県内定着への取組（資料4－5） ・ 修士（公衆衛生学）学位プログラム（MPHプログラム）の 最初の修了生が巣立っていきました（資料4－6） イ 本学掲載新聞記事について（参考資料）
議 事	【開会】 定款の定めに従い、会議が成立することを確認し、開会した。 【議案】 ア 第1号補正予算について（資料1） 事務局から、奨学寄附金の申込み2件及び助成事業採択の通知1件に伴う収入予算及び支出予算の補正について説明があった。 特に質問等はなく、原案どおり異議なく全会一致で承認された。 イ 職員給与規程の一部改正見送りについて（資料2） 事務局から、令和6年度第7回役員会（令和7年3月14日開催）で承認された職員給与規程の改正について、教職員に対し改めて協議及び説

	明が必要な事項が判明したため、改正を見送ることとしたいとの説明があった。 特に質問等はなく、異議なく全会一致で承認された。 【報告事項】 ア 理事長選考会議委員の選出について（資料３） 角濱副理事長から、委員１名の退任に伴う後任委員の選出結果について報告があった。 【その他】 ア ４月９日記者発表の内容について (ア)令和７年度入学者数（資料４－１） 川口理事から、入学者数及び大学院の内部進学者数増について発表した旨の報告があった。 (イ)「地域を守る最前線 冒険する学び舎」青森県立保健大学健康科学部（資料４－２） 川口理事から、今年度開始した第６次カリキュラムについて、教育内容の再編とその目的、新しいプログラムの導入等について発表した旨の報告があった。 (ウ)令和６年度卒業生の国家試験受験結果（資料４－３） 川口理事から、全体的に高い合格率を達成し、特に助産師、理学療法士、精神保健福祉士の試験では、合格率１００％を達成したことを発表した旨の報告があった。 (エ)多文化共生社会を支える「グローバルヘルスプログラム」がスタートしました（資料４－４） 川内理事から、今年度より開始した本プログラムの構成と目的、国際医療分野における著名な講師を招いた特別記念講演会開催の予定について発表した旨の報告があった。 (オ)令和６年度学部卒業生の就職状況 本学の県内定着への取組（資料４－５） 角濱副理事長から、記者発表事項の中でも注目が多い県内就職率の向上について、県内出身者の増加や実習環境の改善、地域定着枠の好影響、県内定着に向けた合同事業者説明会や採用力向上セミナーなどの実施等の要因が考えられること、今後、青森県との連携事業として就職情報の提供を行うコーディネーターの配置計画について発表した旨の報告があった。 その他、学科別の学生の就職動向について説明があった。 (カ)修士（公衆衛生学）学位プログラム（MPH プログラム）の最初の修了生が巣立っていきました（資料４－６） 吉池理事長から、多職種が共同で学ぶプログラムが成功し、優秀な研究成果を挙げた卒業生が表彰されこと、地域の人々に教育資源を提供する特別授業が行われ、多くの受講者が参加し好評だったこと、今後も多くの志願者を迎え入れ、国際的な学生も増えることが期待されていること等について説明があった。
--	---

	イ 本学掲載新聞記事について 吉池理事長から参考資料に基づき、本学掲載新聞記事について説明があった。 【閉会】
--	---